

よしみ まがいかい



5年5月臨時会
5年6月定例会

- 議会人事 …………… P2～3
- 議案審議結果 …………… P5・P8
- 一般質問に10名登壇 …… P9～14

\\リニューアル\\
創刊号
2023.8

議長、副議長および監査委員決まる



議長 神田 隆



副議長 秋山真美



監査委員 岩崎 勤

》議長就任あいさつ

町民の皆様には、平素より吉見町議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

令和5年5月11日(木)に開催されました臨時会におきまして、第43代の吉見町議会議長に就任いたしました神田隆でございます。

身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しているところであります。議長として円滑かつ公正な議会運営に努め、より開かれた議会となるよう最善を尽くしてまいりますので、よろしく願いいたします。議会といたしましても、公正・公平で効率的に行われているかチェックしてまいります。人口の減少を少しでも抑え、活気あふれるまち、よしみに住んで良かったと思われるよう全力で取り組んでまいります。

今後におきましても、議会三役である秋山真美副議長、議会選出の岩崎勤監査委員と共に議会の先頭に立ち、14人の議員が一丸となって更なる町の発展のため、鋭意努めてまいりますので、町民の皆様のご支援、ご指導をお願い申し上げ就任のあいさついたします。



議会運営委員会

(◎ 委員長 ○ 副委員長)

議会の運営に関する事、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事、議長の諮問に関する事項について調査を行う事、議案、請願等の審査をします。



杉田しのぶ 秋山真美 尾崎豊
○小宮榮 ◎宮崎雄一

新体制でスタート



5月臨時会は5月11日限りの会期で行われ、専決処分の2議案、税条例の一部改正と令和5年度一般会計補正予算の2議案、監査委員の選任、特別委員会の設置が承認、可決、同意されました。

6月定例会は6月13日から16日までの4日間の会期で行われ、手話言語条例、税条例の一部改正、請負契約の締結、令和5年度一般会計補正予算および特別会計補正予算等の9議案が可決、同意されました。

総務建設常任委員会

(◎ 委員長 ○ 副委員長)

総務課、自治財政課、総合政策課、産業振興課、税務会計課、まち整備課、議会事務局および農業委員会に関することを担当し、議案、請願等を審査します。



宮尾美千代 吉田克之 神田隆 岩崎勤
宮崎雄一 ◎杉田しのぶ ○新井寛雄

文教生活常任委員会

(◎ 委員長 ○ 副委員長)

町民健康課、長寿福祉課、子育て支援課、環境課、水生活課、教育総務課および生涯学習課に関することを担当し、議案、請願等の審査をします。



伊藤えりか 秋山真美 福田妙子 福井学
小宮榮 ◎尾崎豊 ○大野陽康

5月臨時会

主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

議案 31

- ・国民健康保険税の課税限度額の引き上げ(後期高齢者支援金分のみ)
- ・軽減対象拡大

賛成多数

	細目	改正	現行
国民健康保険税の課税限度額	基礎課税額	65万円 (改正なし)	65万円
	後期高齢者支援金等課税額	22万円	20万円
	介護納付金課税額	17万円 (改正なし)	17万円
	国保税全体	104万円	102万円

■限度額改定による影響

	改定前	改定後	増減
限度額超過世帯数 (後期高齢者支援金等分のみ)	37世帯	32世帯	-5世帯

■軽減対象改定による影響

	改定前	改定後	増減
軽減世帯数 (5割・2割軽減のみ)	787世帯	809世帯	22世帯
5割軽減世帯数	417世帯	428世帯	11世帯
2割軽減世帯数	370世帯	381世帯	11世帯

主な質疑

問

地方税法施行令一部改正に伴って、課税限度額の引き上げは必ずやらなくてはいけないものなのか。

答

必ずしも地方税法と一致しなければならないものではない。

町における課税限度額該当世帯の割合は。

令和5年2月末で基礎課税分は0.59%、後期高齢者支援金分は1.28%、介護納付金分は1.12%。

給与収入918万円以上(夫、妻、子2人の場合)が引き上げの対象となるが、町職員加入の共済組合保険料ではいくらになるのか。

該当職員はいないが、試算での自己負担分は53万4316円。

議員

提出者

反対討論

杉田しのぶ議員

国が引き上げの根拠としている課税限度額該当世帯は1.5%以内で、吉見町は引き上げる必要はない。電気代や物価が大幅に高騰している中、高すぎる国民健康保険税をこれ以上引き上げるべきでない。

反対討論

日本共産党 福田妙子議員

国民健康保険の課税限度額は、後期高齢者支援金課税額を昨年の「20万円」から「22万円」に引き上げ、また基礎課税額「65万円」と介護支援「17万円」を合わせ、国保税全体額をみると「102万円」から「104万円」へと2万円の引き上げになる。国保税の引き上げにつながるおそれのある限度額引き上げに反対。

—主な歳入—

(1万円未満切り捨て)

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 7070万円
- 子育て世代生活支援特別給付金等補助金 831万円
- 財政調整基金繰入金 999万円

—主な歳出—

(1万円未満切り捨て)

- 地方創生推進事業(地域商品券配布等) 8035万円
- 子ども・子育て支援事業
(非課税世帯生活支援金等) 793万円
- 職員労務管理事業(時間外勤務手当) 72万円

主な質疑

問

商品券配布の時期は。

答

8月上旬に届くように事務を進めていく。

担当職員に過重負担とならない対策はとられているか。

商品券は事務委託をする。事前準備をして、なるべく負担にならないように対応したい。

商工会発行の「ゆったりお店ガイドブック」が、電子ブック化されている。商品券と共に活用を。
地域おこし協力隊の協力も得て、町内の店を巡り情報発信してもらい、公式LINEを活用し、町内の店に行く機会につなげる考えは。

提案のデータ等も活用しながら取り組みたい。

商品券の回収率をどの程度予測しているのか。

前回の商品券の執行率は約97%。

商工会への要請は。

町内の取扱い店舗などにも協力をいただくので、予算承認後、早急に商工会とも連携を図る。

議員

提出者

議案審議結果

5月11日 臨時会

町長提出議案

議案番号	件名	結果	福井	伊藤	福田	吉田	宮尾	新井	大野	秋山	尾崎	岩崎	宮崎	杉田	小宮	神田
議案第30号	専決処分について(吉見町税条例の一部を改正する条例)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第31号	専決処分について(吉見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	可決	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	議長
議案第32号	吉見町印鑑条例の一部改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第33号	令和5年度吉見町一般会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

追加

議案第34号	監査委員の選任同意について	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
発議第3号	特別委員会の設置について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

議案

35

吉見町手話言語条例を新たに制定

賛成
全員

内容

手話は、音声言語の日本語と異なり、手指や体の動き、表情を使って視覚的に表現する言語です。きこえない人やきこえづらい人にとって手話は、かけがえのないものであり、物事を考え、お互いの意思や気持ちを伝え、理解し合い、知識を蓄え、文化を創造するために必要不可欠なものです。

しかしながら、手話は、長い間言語として認められず、手話を使う環境が整えられてこなかったことから、手話を使う人が生活していく上で、多くの不便や不安が生じていました。

こうした中、障害者の権利に関する条約や障害者基本法において、手話が言語であると位置づけられ、手話に対する理解及び普及が求められています。

吉見町民憲章にある「人権を尊重し、福祉をすすめ、住みよい町にしよう。」を実現するためには、町民一人ひとりがそれぞれの言語を尊重し、コミュニケーションを図ることがとても大切です。

ここに、私たちは、手話に対する理解を深め、これを広く普及するとともに、手話を使う人が安心して日常生活を送ることができる環境を整え、もって全ての町民が共に生きる地域社会を実現するため、この条例を制定します。



議場で手話通訳

主な質疑

問

条例策定の準備委員会に参加されたメンバーは。また、パブリックコメントを実施した期間は。

答

ろう者の方、手話を使う子を持つ親、手話サークルのメンバー、埼玉県聴覚障害者協会事務局の方。パブリックコメントは、令和5年2月24日から3月15日まで実施。

議員

提出者

杉田しのぶ議員

賛成討論

当事者、関係者の皆さんからの要望を受け、皆さんの意見を伺いながら、1年もかからずに条例制定がされたのは初めてのことで、先進事例にもなる。条例の前文に則り、関係者の皆さん、議会も協力しながら、施策の推進が図られることを期待する。

公明党 秋山真美議員

賛成討論

手話言語条例は、手話を独自の言語体系をもつ言語と位置づけ、聞こえない人と聞こえる人が互いを理解し尊重することを目指し、2013年に鳥取県で全国初の制定が行われて以降、全国で制定が広がり、県内42市町が制定している。吉見町では、準備委員会を開催し、手話を日常的に使っている方、手話の理解と普及に尽力されてきた方などのご意見ご要望をお聞きし検討がなされ、制定された条例。

内容

子どもと子育て世代への包括的な総合支援の拠点施設として、旧町立図書館を改修し、(仮称)こども家庭センターを整備。広い交流スペースや一時預かりスペース、調理室、学習室を備える。

専門職員を配置して妊産婦、子育て世帯から概ね18歳までの子どもを対象に支援する拠点となる。



旧町立図書館

事業費 5000万円
施工期間 令和6年3月11日まで

主な質疑

問

旧図書館の建築は何年か。

答

昭和59年度竣工で、昭和60年5月開館。

アスベストは使用されているのか。

プロポーザルの内容で、アスベストの検査を行うこととなっている。

地元業者の選定は。

幅広い事業者から優れた提案がされるように、募集した。

事業者の所在地が小田原だが、緊急時等に対応が出来るのか。

現場管理等が適正に行えるように、事業者と調整する。

B & G財団の助成金の経緯は。

こども家庭センターの設置方法を町で検討していた時に、助成金が活用できるとB & G財団の確認が取れた。

助成金の5千万円の根拠は。

B & G財団の助成事業の上限が5千万円で、なおかつ、3年間の運営費の助成もある。

5千万円で足りない場合は。

収まるのが望ましいが、不測の事態が生じた場合、一般会計から補填させていただきたい。

議員

提出者

杉田しのぶ議員

賛成討論

契約は※公募型プロポーザル方式で、要求水準書を付して、民間の創意工夫によって事業費の縮減やサービスの質の向上が期待できるもの。設計・施工一括発注の担保として、第三者機関による検査・建築に関わる現場管理支援が受けられる体制もとられている。

※公募型プロポーザル方式とは：応募者に企画を提案させ、価格だけでなく総合評価で事業者を選定する方式。入札制度における総合評価制度と似ているが、事業者を公募する点が異なる。

議 案 審 議 結 果

6月 定例会
町長提出議案

議案番号	件 名	結果	福井	伊藤	福田	吉田	宮尾	新井	大野	秋山	尾崎	岩崎	宮崎	杉田	小宮	神田	
議案第35号	吉見町手話言語条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第36号	吉見町税条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第37号	請負契約の締結について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第38号	令和5年度吉見町一般会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第39号	令和5年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第40号	令和5年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第41号	令和5年度吉見町公設浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第42号	令和5年度吉見町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第43号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

人 事

人権擁護委員の候補者の推薦

人権擁護委員の候補者に田辺義行氏を推薦(新任)しました。

住所: 吉見町大字江和井
生年月日: 昭和32年11月21日



定例会のお知らせ

吉見町議会 9月定例会

9月5日(火)から開催される予定です。

詳しいことは、町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493-63-5024 (ダイヤルイン)

令和4年12月定例会から動画配信を開始しました。

ライブ配信または録画配信は、このQRコードを読み込んで、ご覧ください。



県議会からのお知らせ

「こんにちは県議会です」

テレビ埼玉 8月27日(日曜日)午前10:00～
県議会の各定例会の様様や委員会委員長インタビューなど、県議会に関するさまざまな情報をタイムリーに放送します。すてきな賞品の当たるプレゼントコーナーもあります。

※詳しい放送スケジュールは、埼玉県議会ホームページをご確認ください。



町政に対する 一般質問

録画配信をご覧になる方は、下記のQRコードを読み込んでください。



6/14

福井議員、尾崎議員、
伊藤議員、吉田議員、秋山議員



6/15

新井議員、福田議員、
宮尾議員、大野議員、杉田議員

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会日よりでは本人の原稿をもとに、その内容を約700字以内で要約し、掲載しています。

町全体で 子ども子育て施策の 議論を

» 福井 学 議員



問1 子ども基本法の施行について、町の対応は。

答 岸田総理は会見で「ラストチャンス」と意気込んでおり、国の動向を見つつ、町の子ども子育て施策は、町全体で議論したい。

問2 小学校統合再編計画の進捗状況は。

答 住民、保護者、教職員を委員とする統合再編準備委員会を中心に、基本構想と基本計画を今年度策定したい。議事録は、今後公開する。

問 学童保育、6小学校舎の利活用計画の概要は。

答 住民説明会でも質問等をいただいたが、引き続き検討していく。

問 食材費、光熱水費が高騰しているが、小中学校と保育所での対応は。

答 高騰分は給食費の増額なしで、補正予算で対応。

問3 旧図書館の内部を改装し、(仮称)こども家庭セ

ンターを開設する計画の概要は。

答 令和6年4月開設予定で、児童福祉と母子保健の一体的な相談支援拠点として、妊産婦、子育て世帯、概ね18歳までの子どもを対象に支援する。さらに、家庭以外で子どもたちが、安全安心に過ごせる居場所も併設するので、未来を担う子どもたちが、誰ひとり取り残されることなく、健やかに成長できるよう、新たな子育て支援の拠点施設として活用していく。

問 子どもや保護者の状況は、多様化しながら、困難の度合いを深めているが。

答 全ての子どもたちを対象に、子どもたちがとりこぼされることがないように、また子どもたちにとって手厚い施設となるよう進めていく。



(仮称)こども家庭センターがここに開設されます

吉見町の今後のまちづくりでの地域資源の活用

» 尾崎 豊 議員



問1 吉見町の国指定史跡、吉見百穴と松山城跡の今後の整備と活用は。

答 両史跡の今後の整備と活用は、国県との協議を進め、関係する機関と連携を図りながら、一体的な整備、活用が図れるよう取り組んでいく。

問2 地域資源を活用した吉見町観光ガイドブックの制作は。

答 製本化されたガイドブックは、現状、発行していないが、吉見町に来られた方が町を巡りやすいよう、今後も地域資源を活用した町の魅力発信に努めていく。

問3 児童生徒の体力、技術力向上への取組は。

答 体力向上推進委員会を組織し、その中で各小中学校の体力の現状や向上の取組について協議し、町の現状を把握した上で、児童生徒の体力向上に向けて指導、助言をしていく。

問4 中学生の今後の部活動の取組は。

答 教育委員会では、関係団体と連携しながら、部活動の地域移行について協議していく。

問5 町制施行50周年記念事業の内容と今後の取組は。

答 素晴らしい事業を企画、実施して吉見町の記念すべき年を盛り上げていただいた。未来の吉見町につながるまちづくりに取り組んでいく。

問6 町制施行50周年記念誌の発行は。

答 多くの町民の思い出として残すことができた。記念誌の発行はしないが、町としては、いつでも記念の年を振り返ることができるような取組を進めていく。



現代の流れに乗った情報伝達を

» 伊藤 えりか 議員



問1 ネット社会に一步入り始めた高齢者や学生も見やすい町ホームページに改善していく考えは。

答 高齢者のインターネット利用も増えていることから、誰もが見やすく分かりやすいホームページになるよう、更なる充実に努めていく。

問2 いじめや虐待等に悩まれている児童生徒当事者からの相談を受けやすくするために、スマホからでも直ぐに相談窓口に進めるようトップページに並べていく考えは。

答 現在、トップページのレイアウトを変更する予定はないが、関係課と調整し、ページ移動の工夫やページ内容の充実などを図り、利便性の向上に努めていく。

問3 現在普及し始めている電子回覧板を導入するなどICT(情報通信技術)活用を希望する自治会について積極的に支援していく考えは。

答 区長会が実施予定のアンケートに、自治会のICT化についての項目もあるので、結果を参考に、各自治会の現状を把握していく。

問4 最近では各自治体で可愛いキャラクターを活用したごみ分別アプリが増えている。町でも導入し、各自治会での声かけの苦勞を、町が中心となって改善していく考えは。

答 ごみの分別、減量化や適正排出を推進するための一つの有効手段であると考えるが、費用対効果も含め調査していく。また、ごみの分別の徹底と減量化に向け、町民に分かりやすい周知に、引き続き努めていく。



自主防災組織の育成は

» 吉田 克之 議員



問 自主防災組織は75行政区に整備されているが、活動状況は。

答 地域防災を担う主体は町民自身であり、その最も現実的かつ効率的な形態が自主防災組織。令和4年度は、町内25の自主防災組織で避難訓練や初期消火訓練を実施。いつ起こるか分からない災害に備えていただくよう防災意識の啓発に取り組んでいく。

問 自主防災組織のリーダーは区長ですが、1、2年で交代する区長の防災リーダー研修は。

答 自主防災組織のリーダーとなる人材育成が必要不可欠であるとの考えの下、区長を始め行政区の役員を対象とした自主防災組織リーダー養成講座を定期的に行っている。

「自主防災組織活動実態調査」の過去の調査結果から、区長の交代が頻繁であることが、組織の活性化

を阻害する要因であること、また、女性の役員が多い組織ほど活動が活発に行われていることが、明らかになっている。このようなことから、できるだけ長く活動を続けられる方や生活者の視点を持った女性の参加者を増やすなど、自主防災組織の活性化に取り組んでいく。

災害時はみんなで協力!



防犯カメラの設置で小学校の防犯対策の強化を

» 公明党 秋山 真美 議員



問1 令和5年度から7年度までの3年間、不審者の学校侵入防止対策の強化を図るための設備・装置への補助金は、補助割合を上げ、補助下限額の引き下げなどが国から示されている。小学校などへの防犯カメラ設置の考えは。

答 近年、県内でも不審人物が学校に侵入する事件が発生しており、子どもたちが安全安心な学校生活を送れるように、犯罪への抑止力は必要と考えており、防犯カメラはその有効な対策であると認識している。他の自治体の導入事例や国庫補助の活用状況など調査研究する。

問2 4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。命を守る観点から着用の推進を図るべきと考えるが、町の取り組みは。

答 町ホームページ・SNS・広報紙などの活用や啓発

チラシなどでの周知、保育所や小学校などの交通安全教室で呼びかけも行っている。引き続き、広い世代に命を守るためにはヘルメット着用が重要な役割を果たしている点を継続的に伝えるとともに、着用の機運醸成に取り組んでいく。

問 ヘルメット着用推進の一助となるという点から、購入代金の補助をしていくという支援策の考えは。

答 県内では6市3町が補助金制度を実施している。県内の状況等、注視していく。

問3 コミュニケーション支援ボードを活用している窓口もあるが、町全体での活用を推進する考えは。

答 各課で導入に向け検討していく。

その他の質問 ・デジタル技術を活用した情報収集の導入
・音声コード活用で情報提供手段の拡充



自転車死亡事故の約6割が頭部の致命傷



20年後に予想される危機に関して

▶▶ 令和の会 新井 寛雄 議員

問1 太陽光パネルの寿命は25～30年とされており将来は処分場が逼迫となる。災害発生時には、破損したパネルより有害物質の流出が懸念される。現状の課題と取組は。

答 ガイドライン等に沿って、適切な維持管理・処分を事業者へ指導していく。

問2 国民健康保険の運営に関して不安を感じる点はないか。腎不全透析等の負担の大きいものに関して今打てる予防策として、検診に自覚症状のある口腔内検査等は加えられないか。また、どうなると予想しているのか。

答 広域化により20年後も安心と考えている。運営が圧迫されることのないように、県と協働し、より安定した国保運営に取り組んでいく。

問3 吉見中学校の後援会が解散する。小中学生の

いない地域もあるなど取り巻く社会環境の変化もあり、町民体育祭の競技などにさまざまな見直しが必要ではないか。現状の課題と取組は。

答 地域での高齢化が進み、出場選手集めに苦慮しているとの声やコロナ禍で3年間中断していた体育祭をどのように再開していくかが、一番の課題。取組は、町スポーツ協会総会で10月1日に開催を決定し、開催要項などは、今後、町スポーツ協会理事会で決定する。

問 町民体育祭の今後の対策は。

答 地域コミュニティの醸成や生涯スポーツの振興を図るため、誰もが楽しく参加できる、持続可能な体育祭となるよう取り組んでいく。



持続可能な町民生活のために



デマンドタクシー 2台から3台へ

▶▶ 日本共産党 福田妙子 議員

問1 デマンドタクシーの利用状況と問題点は。

答 令和4年度は6873件の利用で、おおむねコロナ前の水準に。予約が混み合う曜日、時間帯が出始め、特に当日予約は、希望時間での予約が取れない状況。

問 利用範囲と今後の改善点等の考え方は。

答 通り抜けが可能な公道であれば、原則、乗降可能。町外は現在病院4か所、商業施設3か所、バス停2か所へ乗り入れている。

問 今後のデマンドタクシーの運営等の見通しは。

答 ドライバーが減少していく中、サービスを安定的に持続するため、限られた車両台数で効率的な運航が必要。高齢化が進行しても安定的に供給できるサービスを目指す。

問 使い勝手の良いデマンドタクシーにするための対応策は。

答 コロナ禍に伴うさまざまな生活様式の変化があるが、今後3台目を導入し、デマンド型交通の更なる利便性と持続可能性の向上に取り組む。

問2 学校給食費の無償化等について、どのように考えているか。

答 町単独で実施することは大変厳しい。経済的理由等により学校給食費の支払いが困難な場合は、就学援助制度等を活用した支援を引き続き実施していく。

問 近隣自治体の無償化等の動きをどのように捉えているか。

答 県内の一部の自治体で、給食費無償化あるいは一部無償化を実施していることは認識している。



3台目が期待されるデマンド型交通



带状疱疹ワクチン 接種の公費助成を

» 公明党 宮尾美千代 議員

問1 带状疱疹は50代から80代までに3人に1人が発症する。带状疱疹ワクチンは、任意接種ではあるが有効な予防法。不活化ワクチンの接種費用は1回で2万円以上と高額。他の自治体では助成が増えているが、町でも助成する考えは。

答 町独自に助成制度は考えていない。今後は、国における带状疱疹ワクチン接種の有効性と安全性の議論の動向などについて、また県をはじめとする自治体の動向にも注視する。

問2 公園整備の長寿命化計画の見直しは。

答 八丁湖公園施設長寿命化計画は、現状に合わせ計画の見直しを行い、今後も効果的に施設の改修ができるよう努める。

問 トイレを洋式化する考えは。

答 来園者が快適に利用できるよう洋式トイレの設

置を進める。

問 健康遊具の設置の現状と草刈りの現状は。

答 永府公園に2基、ふれあい広場に5基設置している。まずは公園遊具を安全に利用できるような適切な維持管理に努める。草刈りを行うタイミングによっては、雑草が長く伸びてしまう。観光名所の八丁湖などは草刈りや集草等可能な限り行う。安全かつ快適に公園を利用できるように修繕、公園の維持管理に努める。

問3 常時利用可能なAEDの設置場所として屋外型AED収納ボックスを設置する考えは。

答 AEDの屋外設置については、各公共施設の使用目的、設置に係るコストや機器の管理の面から設置する予定はない。



带状疱疹ワクチン接種の公費助成を求む



今回の吉見町議会 議員一般選挙を 総括すると

» 大野 陽康 議員

問1 今回の吉見町議会議員一般選挙を総括するとどのようなことが挙げられるか。

答 住民の代表者を選ぶ選挙は民主主義の実現のために大きな意義がある。執行にあたっては吉見町選挙管理委員会のもと、公職選挙法などの法令が遵守され、明るく公正な選挙ができたとの認識である。

問2 吉見町立小学校統合再編計画に係る令和5年度における具体的な取組計画は。

答 令和5年5月に「吉見町立小学校統合再編準備委員会」を設置。今年度は、施設設備の基本理念や施設整備方針などを定める校舎整備の基本構想とそれに基づいた配置計画や平面計画の検討、各教室の配置などの方向性を定める基本計画の策定、統合小学校の校名候補の選定を予定。また、「吉見町立小学校統合再編準備委員会だより」を適宜発行し、協議状況

などを広く周知していく。

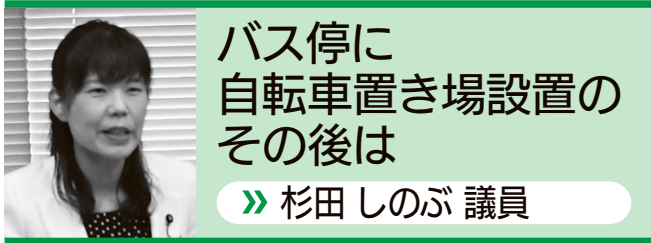
問3 全国的に教職員が不足する傾向がある。年度当初教職員人事において、吉見町では埼玉県の教職員配当基準に基づく教職員数が確保されているか。また、教職員定数とは別に配置される加配教員の状況はどうか。

答 町内小・中学校においては埼玉県の教職員配当基準に基づく教職員数が確保されている。また、加配教員については、基準定数以外に全ての小・中学校に1~2名、計11名が配置されている。



その他の質問

- ・小・中学校管理職人事について
- ・「吉見町立小学校統合再編計画」決定までの経緯について(確認)
- ・町民の選挙や町政への関心を高めるための方策(対策)について



バス停に 自転車置き場設置の その後は

» 杉田しのぶ 議員

問1 令和4年9月議会で「試験的に設置して効果検証を早期にしたい」との答弁だったが、未だに設置していない理由と今後の対応は。

答 屋根付きの自転車置き場の設置は、場所により法規制の対象となる。設置できる場所と並行して、法制面の技術的調整を進めているため実施に至っていない。引き続きバス事業者をはじめ、関係機関と連携して、利用しやすい環境づくりに取り組んでいく。

問 日が沈むと真っ暗な所が多いため、バス停の環境整備として照明灯を設置の考えは。

答 バス停の照明灯は、利用者を交通事故等から未然に防ぐ効果はある。周辺状況を勘案し取り組む。

問2 地域通貨をデジタル化することで、券の発行に伴う印刷や換金に要する手間や予算が削減される。健康づくりやボランティア参加の特典として活用する

ことで、継続的な地域経済の活性化施策としても有効と考えるが、吉見町でも導入の考えは。

答 スマートフォンが苦手な方が、取り残されないようにすることやデジタル化されていない町内事業者の課題もある。まずはメリットについて理解を深め、多くの町内事業者に参加いただけるよう商工会と連携して取り組むことが重要と考える。

問 操作が苦手な方にはカード型の地域通貨も併用できる。事業者は店舗決済用のQRコードでも対応でき、アプリからの決済も可能。導入の初期費用は今なら国の補助金もある。先進事例も参考に導入の考えは。

答 費用対効果も十分検証し、検討したい。

その他の質問 ・公式LINE機能の充実を提案



スペース的には設置できる亀の甲バス停

表紙の写真を募集中!!



『よしみ議会だより』として親しまれてきた名前を、今号より『よしみぎかい』と改め、デザインを一新、本文をユニバーサルデザイン、つまりどなたでも読みやすく配慮された字体で、かつ字を大きくして、皆様にお届けいたします。

今号の表紙写真は吉見町東野から北西の方角を望んで撮影したもので、田植えが済み、水面が夕陽に照らされる様子です。



『よしみぎかい』次号からは、表紙に町民の皆様が撮影した写真を掲載する計画で、写真を募集しています。吉見町在住、吉見町で学ぶ方、働く方であれば、個人、団体は問いません。詳しくは下の二次元コードをスマートフォンのカメラで読み取って、吉見町ホームページを参照ください。編集委員が撮影した「南公民館の七夕まつり」「東地区でジャンボタニシ駆除」の写真も参考に。皆様の応募をお待ちしております。



埼玉中部環境保全組合議会定例会
ごみ処理(可燃、粗大)

» 尾崎 豊 議員

日 時 令和5年5月29日 午前9時から
場 所 埼玉中部環境センター議場
出席者 秋山真美、杉田しのぶ、宮崎雄一、尾崎 豊

■ 令和4年度の運搬量

	組合全体	吉見町
可燃ごみ	34,221.67t(前年度比172.92t増)	3,464.78t(前年度比 1.45t増)
粗大ごみ	1,586.00t(前年度比123.21t減)	221.73t(前年度比37.07t減)
合計	35,807.67t(前年度比 49.71t増)	3,686.51t(前年度比35.62t減)

■ 報告 新たなごみ処理施設の建設推進事業は、鴻巣市郷地安養寺地内として事務を進めることに決定。
現在は、新たなごみ処理施設等整備基本計画などの策定に向けた事務が進んでいる。
第2期大間最終処分場は、令和5年度から用地買収の交渉に入る予定。

付議された議案

- 議案第 8 号 専決処分の承認を求めることについて
(埼玉中部環境保全組合情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例)
- 議案第 9 号 令和5年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算(第1号)
既定の予算額に129万円を追加し、予算総額を9億4662万8千円とするものです。
- 議案第10号 埼玉中部環境保全組合監査委員の選任同意について
(吉見町の秋山真美議員の選任同意)
- いずれも、原案のとおり、承認、可決、同意されました。

比企広域市町村圏組合議会臨時会
消防、斎場、介護認定・障害支援区分審査会

» 神田 隆 議員

日 時 令和5年5月29日 午前10時から
場 所 東松山市議場
出席者 神田 隆

新たに、東松山市の斎藤雅男議員が議長に就任されました。



付議された議案

- 議案第16号 監査委員の選任について
(東秩父村の百瀬浩子議員の選任同意)
- 議案第17号 財産の取得について
東松山消防署滑川分署に配備される高規格救急自動車の購入
- いずれも原案のとおり、同意、可決されました。

北本地区衛生組合議会臨時会
し尿処理

» 秋山 真美 議員

日 時 令和5年6月2日 午前9時から
場 所 北本地区衛生組合議場
出席者 尾崎 豊 秋山真美

新たに、鴻巣市の金澤孝太郎議員が議長に、久喜市の盛永圭子議員が副議長に就任されました。また、鴻巣市の織田京子議員が議会運営委員長に、吉見町の秋山真美議員が副委員長に選任されました。

付議された議案

- 議案第8号 監査委員の選任について
(北本市の村田裕子議員の選任同意)
- 原案のとおり、同意されました。

議員活動レポート!!

～フレンドシップ・ハイツよしみ視察～ 令和5年6月16日(金)



人の出入りが無かったせいか、埃臭さと共に、物悲しさを感じました。



電気がつけば今にも活用が出来るのではないかと思える程の状態でした。



どうする?! フレンドシップ

フレンドシップ・ハイツよしみは、多くの文化財や自然環境に恵まれた中で、町民をはじめ多くの方々の交流宿泊施設として民間事業者に運営を委託している公共施設でしたが、令和4年3月末に契約が終了しました。

今後活用するにしても、解体するにしても、多額の経費が必要で、町民が納得できるよう、今後も町に説明を求めていきます。

～今までのまちの取組について～

- 令和3年11月8日 「フレンドシップ・ハイツよしみ土地建物等賃貸借契約解除に伴う合意書」締結
- 令和4年5月10日 議会全員協議会 サウンディングの結果を踏まえ、活用の可能性があるとの意見があったことから、地域活性化企業人制度を活用し国の交付金を申請していく事について説明
- 令和4年12月5日 議会全員協議会 地域づくりチーム活動報告・地方創生拠点整備交付金申請について
- 令和5年1月23日 地方創生拠点整備交付金申請
- 令和5年3月1日 議会全員協議会 地域づくりチーム活動報告・地方創生拠点整備交付金申請について
- 令和5年3月31日付 採択されなかった為却下



議会だより編集特別委員会

(◎ 委員長 ○ 副委員長)



伊藤えりか 吉田克之 福田妙子

◎杉田しのぶ ○福井学

委員会には、議長も相談役として参加しています。

町民のみなさま お待たせしました

編集後記

『よしみざかい』議会広報、創刊号発行となりました。

紙面の都合上すべてとはいきませんが、議会の様子を出来る限りありのまま伝え、みなさまに親しまれる議会広報となるように編集委員一同模索中です。

No.6では議会広報アンケートも予定していますので、みなさまのご意見をお寄せください。(杉田)